

事業コード	03010303		区 分	■ 実行 □ 経常		
事務事業名	海外留学体験事業		担当部署名	教育課		
			作成責任者職氏名	課長 北浦 秀明	内線	650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	03外国語活動・教育の充実			
実施期間	□ 単年 ■ 継続 (平成25年度～ 年度)		実施方法	■ 直営 □ 委託 □ 補助等		
根拠法令等	□ 有 ■ 無	法令等の名称	義務付け	□ 有 ■ 無		

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容		(2)対象(誰を対象とするのか)	
①目的 次代を担う中学生を海外に派遣し、その国の人々との交流を通じて、異文化理解を深めさせるとともに、語学力向上の機会を与え、国際化時代に対応できる人材の育成を図ることを目的とする。 ②内容 村立中学生を対象に、夏季休業中に、ホームステイによる現地での生活体験・住民との交流、現地校での授業参加、現地中学生との交歓・交流を行う。		村立中学生(第2・第3学年)	
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)		(4)事務事業を進める上での課題や問題	
幼・小・中学校の英語活動や学習において学んだ英語力を活かし、コミュニケーション能力の育成と、異文化理解を深める。		事業に対するニーズや安全性の確保	

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	25 年度 実績	26 年度		27 年度 事業費(見込)	28 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	928	10,231	10,166	9,794	9,794			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債		7,600	7,600	7,600	7,600		
	その他の特財		2,000	1,940	2,000	2,000		
一般財源	928	631	626	194	194			
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,767	2,433	2,433	2,433	2,433		
総コスト費(千円)(A+C)	2,695	12,664	12,599	12,227	12,227			
人口あたりコスト(円)	453	2,174	2,163	2,099	2,099			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	26 年度			27 年度 目標値	28 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	事業参加者	人	20	20	100%	20	20
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

III 事務事業の評価<Check>

事業番号3 資料2

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	第4次千早赤阪村総合計画に、「幼・小・中の一貫した教育を進めるとともに、外国語活動、教育の充実など村の特性を生かした学校づくりを進めます。」とあります。海外の国の人々との交流を通じて、英語が話せる児童生徒を育てる村の政策姿勢に、大いに貢献していると考えられる。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	子どもたちの意欲が感じられ、国際化時代に対応した人材育成に大いに期待できる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	事務局と学校が協力し合い、事業を遂行している。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	参加者から負担金を徴収しているため、概ね公平だが、予算等により、定員を決めているため、希望者全員が参加できない場合がある。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	88%	94%	a
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
より効果があがるよう参加者の増を図りながら、引き続き取り組んでいく。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
参加者の増加に向け、引き続き取り組んでいく必要があると考える。また学校間だけでなく、地域や村にも還元できるよう、地域等を巻き込んだ取り組みが必要であると考えます。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止